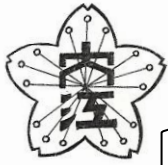


2020 年度

【重要：お願い】ハートフルコンサートの県立劇場会場費は毎年 PTA 会費から支出していただいております。子どもたちに素晴らしい経験をさせていただき大変感謝しております。



大江の風



9月29日
祝No.100

本年度まだ PTA 会費納入がお済みでないご家庭は、何卒よろしくお願ひいたします。本年度はコロナで会費が減額してありますので収入減となっております。

6年生で研究授業がありました

司会グループさん上手に進行していました。さすが6年生。

今年は、やっぱり例年通りの研究は難しいです。しかし大江の研究は、途切れることなく前進あるのみ。コロナ禍でできないとあきらめるのではなく、どうしたらこの状況下で安全にできるかを考えます。私たちが研修・研究を続けることは、目の前の子どもたちの将来生きて働く力をつけるためです。がんばります。先週は福岡教育大学の脇田哲郎教授にZoomで研修をしていただきました。昨日は6年生で学級活動の研究授業を行い、6年生が1年生の時の教頭先生、帯山西小学校の平野校長先生にご指導いただきました。例年なら全職員で参加するのですが、そうすると授業中密になるので、今年は下学年と高学年に分け、半分の人数で参観することにしています。



4人でしっかりグループディスカッションをしていました。

6年生の学級会「下学年を笑顔にする映像劇をつくろう」。提案の理由に感動しました。『今年は新型コロナにより気持ちが沈んでいる下級生のみんなや、お世話になった先生方を含めて、笑顔溢れる学校にしたいです。そこでオリジナル劇をつくと、きっとクラスみんなで協力して学級目標の「支え合うきずな島」に近づくことができると思います。そして出来た作品で、学校を笑顔にしたいです。』気持ちが沈んでいる下級生のために、というところがとても大江らしくて、6年生の気持ちが嬉しいです。本来なら、休み時間や縦割り班活動で、下学年のお世話をしたり一緒に遊んで

くれたりと、大活躍の6年生だったことでしょう。活動が制限されても、何か下学年のために、そして笑顔溢れる大江小のために話し合い、実践してくれる6年生。頼もしさを感じます。ぜひぜひ映像劇を完成させ、全校児童を楽しませてほしいなあと思います。講師の平野校長先生からは、「とても雰囲気の良いクラス。男女仲良く話し合っている。自分の発言をみんなが受け入れてくれるという安心感がある。これが学級活動の基盤になる。」とお褒めの言葉をいただきました。6年生のクラスは、子ども同士が自分の考えや思いなどを本音で語り合える支持的風土づくりができていました。「自分の考え（言っていること）を理解してもらえ」「友達の考え（言っていること）が理解できる」という部分を大切にこそ、自尊感情を高めていくことができるのです。



平野校長、「1年生の時算数を教えてもらいました。とても面白かったです。」と6年生に声をかけられたそうです。よく覚えていましたね。よほど楽しかったのでしょうか。

ディベートクラブ。どんなテーマかな？

第3回クラブ活動がありました

先週3回目のクラブがありました。

今年のニュークラブは「ディベートクラブ」一般的な定義では、ディベートとは、「ある特定のテーマの是非について、2グループの話手が、賛成・反対の立場に別れて、第三者を説得する形で議論を行うこと」ですが、教室ディベートとは、教育的効果を重視した、ジャッジが勝敗を決めるゲーム形式のものです。楽しみながら「客観的・批判的・多角的な視点が身に付く。論理だった思考ができるようになる。自分の考えを筋道立てて、人前で堂々と主張できるようになる。情報収集/整理/処理能力が身に付く」などいいことばかりですね。また地域探検クラブは「揚げパン屋さん」へ。近所にこんな名所があるとは知らなかったです。（お土産の揚げパン、とても美味しかったです♡。）



消しゴムはんこクラブ



どのクラブも集中していますね。

手芸クラブ



図書クラブ

